

下水道事業会計

損益計算書

[1年間の経営成績を示すもの]

(平成27年4月1日から平成28年3月31日まで)

(単位:千円)

貸借対照表

[年度末における事業財産の状態を示すもの]

(平成28年3月31日現在)

(単位:千円)

費用科目	金額	収益科目	金額
営業費用 (処理場や管渠維持費、 固定資産除却費等)	1,160,732	営業収益 (使用料等)	121,603
営業外費用 (長期借入金利息・繰延勘定償却)	118,023	営業外収益 (他会計補助金・長期前 受金戻入)	1,061,741
特別損失 (災害による損失等)	237,215	特別利益	33,562
		当期純損失※2	299,064
合計	1,515,970	合計	1,515,970

(注)金額は消費税抜きです。

資産科目	金額	負債・資本科目	金額
固定資産 (下水道管、機械設備)	10,910,984	固定負債 (企業債、修繕引当金) (うち建設改良等の財源に 充てるための企業債)	4,287,703 (4,065,962)
流動資産 (現金預金、未収金)	631,765	流動負債(企業債・未払金) (うち建設改良等の財源に 充てるための企業債)	921,789 (425,870)
繰延勘定 (災害損失)	0	繰延収益 (長期前受金)	6,358,904
		資本金	725,152
		剰余金 (うち未処理欠損金)※4	△750,799 (750,799)
合計	11,542,749	合計	11,542,749

(注)金額は消費税抜きです。

H27年度下水道事業会計のあらまし

項目	H27年度	H26年度	対前年度	備考
計画処理区域内人口 (人)	16,560	16,560	0	平成17年度に定めた計画人口です。
処理区域内人口(外国人含) (人)	6,324	6,475	△ 151	東日本大震災による影響のため昨年度と比較すると減少しています。
水洗化人口 (人)	6,160	6,214	△ 54	東日本大震災による影響のため昨年度と比較すると減少しています。
水洗化率 (%)	97.41	95.97	1.44	処理区域内人口減が水洗化人口減を上回ったことが微増要因です。
年間有収水量※3 (m ³)	592,642	566,384	26,258	処理水量のうち下水道使用料算定の対象となる水量です。
企業債元金残高 (千円)	4,755,450	4,981,221	△ 225,771	主に下水道工事に要した長期借入金の残高です。

用語解説

※1 災害による損失: 東日本大震災において発生した緊急的費用です。

※2 当期純損失: 廃止管路の残管処理工事に伴い資産減耗費等の費用計上が大きく、当年度も損失となりました。

※3 年間有収水量: メーター検針により把握され、下水道使用料算定の対象となった一年間の下水道使用水量のことをいいます。

※4 未処理欠損金: 東日本大震災にて生じた純損失が大きく、剰余金で賄えないため、欠損金として計上します。なお、欠損金を減少させるには損益計算書で純利益が生じなければ減少することができません。